



Atsuko Tanaka  
—田中敦子—

素天蓮州

STAINLESS STEEL BAR & WIRE

**NABEKURA**

鋼倉金属工業株式会社 和田山工場

〒669-5252 兵庫県朝来郡和田山町筒江字中山165番地7

TEL 0796 (74) 2011 (代) FAX 0796 (74) 0150

OSAKA・TOKYO

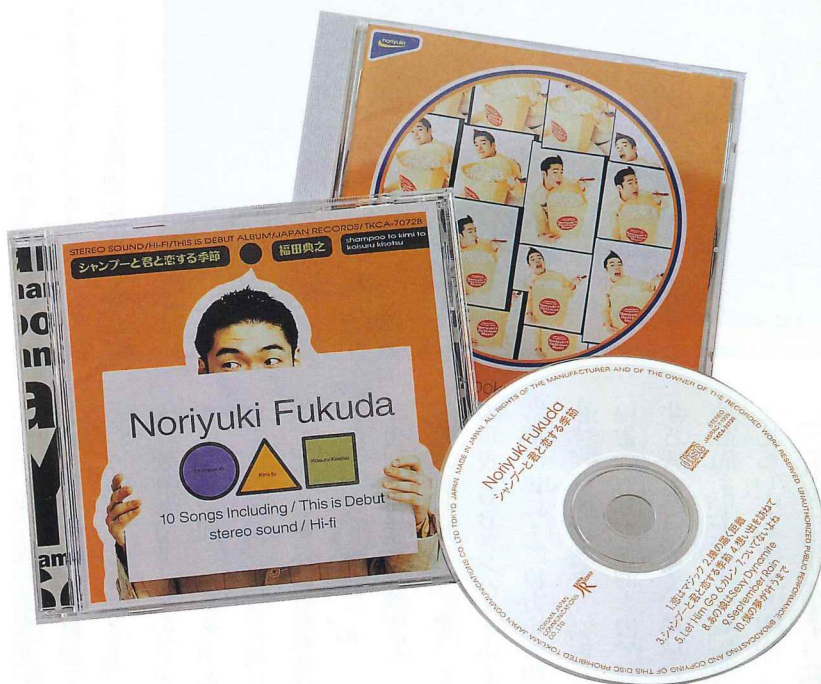




プロフィール

ふくだ のりゆき(豊岡市出身)

1971年2月28日生まれ。ウィルソン・フィリップスの音楽に出会い強い衝撃を受け、91年から一年間大学を休学し、アメリカ・オレゴン州セーラムにあるChemeketa, C.C.に留学。VOICEクラスも受講し、成績Aで単位取得。プロになる決意をする。本格派シンガーソングライターとして、徳間ジャパンコミュニケーションズより、95年9月25日シングル「瞳の届く距離」アルバム「シャンプーと君と恋する季節」にてデビュー。今までに2枚のアルバム、5枚のシングルを出し、現在、新曲づくりに励んでいる。



思い出を訪ねて

あの頃の記憶

たどって君の

住んでいた街をひとり

歩いてみた

潮風が届く

駅前の景色

何も変わらずに

あの時のまま

あれからいろいろ

あったけれど君は

今何処で誰と

暮らしているのだろうか

もし偶然出会ったとしても

呼び止める勇気もないけれど

ひとつだけ伝えたいあの頃の

僕は今もいるって…

この詩は僕のデビューアルバムに入っている「思い出を訪ねて」という曲です。僕は自分で詩を書き歌っているのですが、詩を作るときイメージとして心に浮かんでくるのは、ほとんど但馬の風景です。ちなみにこの曲は城崎の駅前と全

但バスに揺られ気比の浜に行く映像が浮かんで来て出来上がりました。東京に住むようになってもう四年、「外見は少し変わったかな…」なんて思っていますが、心の中は豊岡にいた頃のままです。一番多感な時期を過ごした環境と言ってもいい、その後の人生に大きな影響を及ぼすものなんですね。海と言えば日和山から見える海を思い出しますし、川沿いの風景と言えば、豊岡から津居山へつづく円山川を思い出します。

僕が育ったのは豊岡なので、但馬全体の事はよく分かりませんが、僕にとってこの街の魅力は「絵画のような風景」を持っているところだと思います。若い頃は刺激の少なさに多少イライラしたこともあったのですが、「都会と比べ少しゆったりと時間の流れているこの街でしか手に入れることのできないものがあるんだなあ」と古里を離れてみて分かりました。それは決してお金では買えないもので感性の領域のもの。「純粹さや夢」といった多くの人が忘れてかけているもの。

これからもこの街や景色を歌っていきたいと思っています。